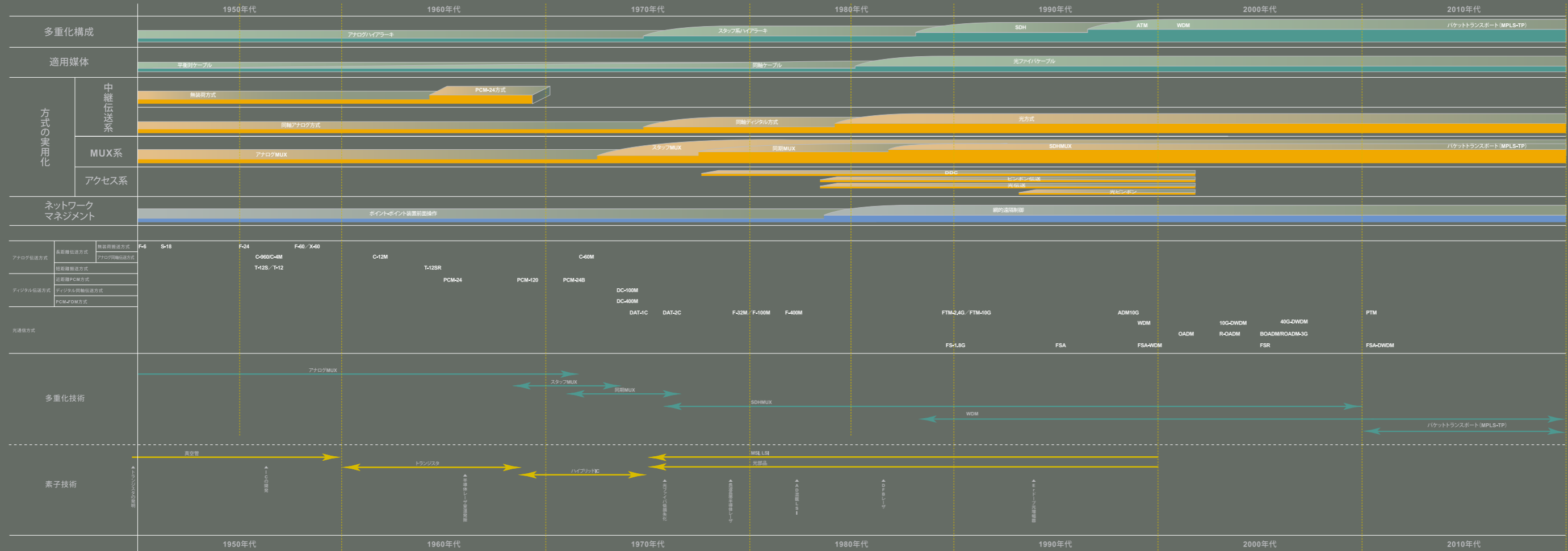


伝送技術の系譜
History of transmission technologies
中継伝送方式の発展とそれを支えた素子技術



- 1) 平衡対ケーブルを使用する4線式。Xiは重信方式、Trは真空管使用の方式をトランジスタ化したもの。
- 2) 960は通話路数、Mとあるのは伝送帯域幅 (MHz) を示す。
- 3) 平衡対ケーブルを使用する2線式。加入者局間など短距離区間用。
- 4) 平衡対ケーブルを利用する初期のデジタル伝送方式。
- 5) Mは伝送速度 (Mbps)。
- 6) データ通信のデジタル信号をアナログ伝送路で伝送する方式。
- 7) Fは光ファイバ伝送方式、FTMは、同期インターフェースをもつ光ファイバケーブル高速終端装置によるもの。
- 8) アナログの多重化は周波数分割多重、デジタルは時分割多重。スタップ多重はクロック周波数が非同期の場合の時分割多重化法。SDHは同期インターフェースの国際基準。